

社会福祉 しずおか

1

No.818

特集 福祉の仕事への誘い
～人材確保に向けた3者の連携を考える～

福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します(平成30年度)

テーマ やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



★静岡県教育長賞
静岡市立西奈南小学校(5年)
すぎやま みさき
杉山 心咲さん

「助け合い」
いろいろな人が住む町の中で
人は助け合います。

※学校名、学年は
平成30年度のものです。

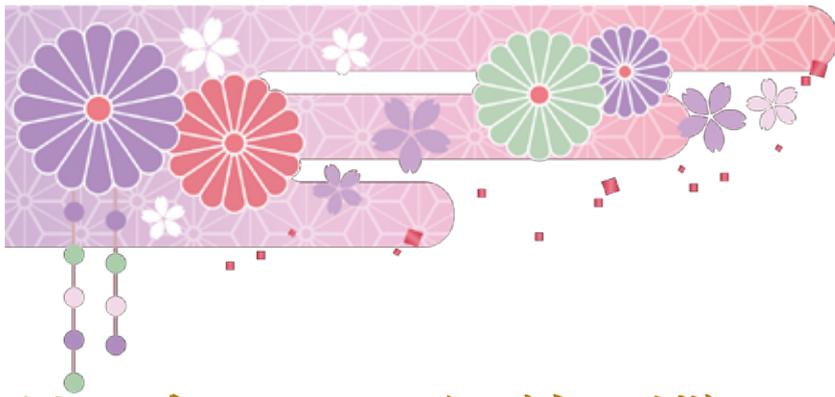
編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>
E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。



新春のご挨拶



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
会長 神原 啓文

新年あけましておめでとうございます。
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会事業の推進に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年は「平成」の世が改まり新たな時代を迎えます。

国は、人生100年時代を見据え、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に向けて、団塊の世代が75歳に入り始める2022年度前の、2019年度から2021年度を全世代型社会保障の「基盤強化期間」と位置付けるとともに、消費税アップによる財源も確保しつつ、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうべく基本方針を打ち出しています。

また、2020年初頭の全面展開をめざす「地域共生社会の実現」については、昨年までに、社会福祉法、介護保険法及び生活困窮者自立支援法の改正により法整備が整ったことから、「我が事」、「丸ごと」の地域づくりが全国各地で加速していくこととなります。

加えて、本年4月からの外国人労働者の受け入れ拡大は、介護分野における人材確保とともに、受け入れ

自治体や地域では、「多文化共生社会」への対応が求められて参ります。

このような中で本会としては、今年度新たに取り組みを始めた「ふじのくに地域共生大賞」等を通じて、福祉以外の多分野連携を推進していくとともに、社会福祉法人が多様化、複雑化する地域生活課題に的確に対応していくため、特に市町圏域におけるネットワーク化を進めて参ります。

近年、単身世帯の増加とともに制度の狭間となっている「身元保証や死後事務の問題」についても、実態調査の上、新たな事業開発に向け検討を進めて参ります。

さらに、貧困の連鎖によつて、子どもたちの将来が閉ざされることのないよう、「ストップ！子どもの貧困」ネットワークプロジェクトに取り組んでいます。この一環として、「子どもの学習支援」に取り組む団体の情報交換会開催や、「子ども食堂」の立上げ支援を進めて参ります。

一方、本県をはじめ全国的に福祉・介護人材の確保が一層厳しくなる中で、本会の社会福祉人材センターが福祉施設や介護事業所に斡旋した福祉・介護人材の採用者数は、昨年

末時点で全国1位の実績を上げております。本年も引き続き、きめ細やかなマッチングに努めるとともに、特に若年層に向けた福祉の仕事のやりがいや魅力の発信、さらには、無資格、未経験者や、働く意欲の高い壮年世代の介護職への就業促進を図つて参ります。

昨年の平成史最大の水害となった西日本豪雨や、北海道胆振東部地震など、自然災害が多発している中、ボランティア活動用資機材の計画的な整備など「県災害ボランティア本部・情報センター」の体制強化を図るとともに、新たに、災害派遣福祉チーム(DCAT)登録員のスキルアップ研修の実施など「県災害福祉広域支援ネットワーク」の機能強化に取り組んで参ります。

本年も、本県社会福祉の発展のため、さらなる努力を続けて参りますので、引き続き、皆様方のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、この一年が明るく実り多き年となりますようご祈念申し上げます。新春の挨拶といたします。



特集

福祉の仕事への誘い ～人材確保に向けた3者の連携を考える～

少子高齢化の進展に伴い団塊の世代が後期高齢期を迎える2025年に向けて、福祉・介護ニーズの更なる高まりが予想される中、福祉・介護分野の人材確保について、様々な対策が進められてはいるものの厳しい状況となっています。

そうした中、福祉・介護の仕事について多くの方々に興味や関心をもってもらうとともに、福祉・介護業界全体による人材確保・定着対策が急務となっていることから、「人材確保」をテーマに社会福祉人材センター、養成校、法人・事業所の3者で今後の連携等について座談会を開催しました。

高橋 福祉、介護職場の人手が足りない中、皆さん人材確保に苦慮されていると思います。

介護に関わるもの同士で手を携えてどのようにしていけば良いかということについて御議論いただきたいというのが趣旨です。

1 人材確保における現状と課題

栗野 社会福祉法人の現状として、

人手不足がありますが、特別養護老人ホームを例にすると、利用者がいないのではなく、スタッフが集まらないために開設できない、ワンフロアを閉めてしまっているという所が結構あります。そのため利用者を制限せざるを得なく、3割ぐらいが赤字経営となっており、経営面において差がだんだん広がってきています。

高口 人材確保に向けて、現場も経営者と一緒に取り組む必要があります。

なかでも現場がまずやらなければいけないのは、人手不足と言うけれども、「人」が不足しているのか、「手」が不足しているのかを把握することが重要です。人が足りないのは、能力が足りないという人材不足。手が足りない

のは、作業効率が悪いという人数不足です。自分たちのユニット、フロア、または事業所において、どういう人材を求めていくのか。またどの時間帯に、どういう業務で、何人欲しいのかを現場がきちんと捉えることが大事です。

そしてそれらを集約し、経営者や管理者に伝え、現場と共有された募集の指針として方向付けられるための正しい人材不足の状況を、現場の職員がきちんと提案できるようにすることが大事です。

新井 学生の就職活動についてですが、

実習やボランティア等に行つて、この施設で働きたいと考える学生も多く、早い学生は春先に内定をいただくこともあります。

一方で養成校への入学者については、全国的に定員割れが課題となつていて、定員の4割程しか充足していません。ところもあり、県内でも学科を閉める、募集を停止する学校も出てきています。

また福祉介護の仕事に対して高校の先生や保護者が反対するというところもあつて課題ではあります。入学者に「なぜ介護の仕事に就こうと思つたのか」を聞くと、職場体験をしたときに「スタッフががっつこよかった」「ああいう人になりたい」と言つて入学した

学生もおり、嬉しい声も聞くことができました。

2 人材確保に関する現在の取組

栗野 当法人では、「介護の現場って

楽しいね」といった現場の魅力を伝えるためにホームページのトップ画面に、2、3分のプロモーションビデオを制作してアップしていますが、こうした魅力の発信を業界として取り組んでほしいと思います。やっぱり広報をやつていかないと、求職者は待つても来ないような気がします。なので、介護のイメージアップを、県も含めて一緒になつてやっていくことが大事だと思います。

高口 人材センターなどの職場体験や

見学先として介護現場は希望者の受入をしています。多くの方と出会う中で実感したのは、仕事の内容や法人紹介、給与や処遇というよりも「介護とは何か」「介護のやりがい」を私たちが言葉や表情で伝えきれているのかということ。それを改めて問われていると思います。

その中で、印象に残っているのが、進路指導の先生から「介護をやつていて楽しいですか、私たち進路指導担当は、学生に介護の大変さは伝えられるが、

社会福祉法人
静岡県社会福祉協議会事務局長
兼静岡県社会福祉人材センター

所長 高橋 邦典 氏



いかに続けてもらうかという二つがあると思います。

入学に向けては、高校での模擬授業で福祉の話をしますが、参加する生徒自体が少なく、福祉を目指す生徒が少なくなっていると感じています。

就職前の支援として、現場で働く先輩の話を聞いたり、様々な施設を見学する等して、早い段階から介護現場のイメージが持てるようにしています。

また卒業後も研修を行っています。アットホームな雰囲気、友達や教員に今の悩みを話して、気持ちを新たに頑張ってもらおうということを行っています。

高橋 今、現状及び課題、そして取り組み等についてお話いただきましたが、その他、人材確保について要望等も含めて何かあればお願いいたします。

① 養成校、学生支援について

楽しさを伝えられない、それをぜひ聞きたい」と言われ愕然として、「まずここからなんだ」というのを思いました。

栗野 養成校が縮小している中、県として、養成校を維持していく施策が必要ではないでしょうか。また奨学金を使って大学に入学しなければならぬ家庭環境の学生もいる中で、こうした学生を支える仕組みをつくっていくかないと人材は増えてこない

新井 養成校の取り組みとして入学者をどう増やすかと、現場に就職後

と思います。

高橋 学生への支援の二つとして、介護福祉士と保育士の修学資金貸付制度が既にあります。これは5年間就業すれば返還を免除するというものですので、介護福祉士等の養成校に行くときには、その修学資金をぜひ活用していただければと思います。

新井 その修学資金について、養成校としても要望を出していますが、入学前の高校生のように情報提供していただければ、進学時の経済的な不安が少し和らぐのではないかと思います。

今、アルバイトをしないと生活が難しい学生も多いので、経済的な支援は必要だと思っています。

高橋 入学してからでは遅いということですね。入学する動機づけとして、働けば返済が免除されるという情報を高校のうちに知ることができれば心理的、経済的な負担が減って、学費を理由に進学を諦めていた子も前向きになれるかもしれないということですね。

このため、この資金をより活用していただくため、今年度から各高校に対して、7月と12月の年2回、制度の

ことですね。

御案内を送るようにしています。

② 外国人雇用等について

栗野 来年4月から外国人雇用の枠が追加されますが、外国人雇用をするにしてもその財源確保等の負担が大きいため、今後外国人の雇用も含めた補助金制度や日本語教育等のサポートを県や人材センター等で検討をお願いしたいと思っています。

当法人では、EPA（経済連携協定）で外国の方が2名、介護福祉士の国家資格を取って働いていますが、他

静岡福祉大学 社会福祉学部
健康福祉学科

准教授 新井 恵子 氏





社会福祉法人八生会
理事長 栗野 裕治 氏

の法人等の話として、多くの方がいろいろな事情で帰国してしまい、残っていないと聞きます。国の基準が高すぎるといってもありますが、定着に向けての方策をつくっていかないと、外国の方々が日本を選んでくれない状況がきていると思います。

高口 外国人雇用については、法人としては現地に合弁会社をつくって事業展開をしています。現地で法人の職員として雇用し、異動として来ていただいて、経験を積んだら次の方がくると

いった仕組みをつくって対応しています。そのため、外国の方々に分かりやすく説明できるようにマニュアルは作っていますが、受け入れ側として教育と生活環境については、慎重に対応しています。

栗野 全国の大きな法人などは、現地で学校や会社を作って、そこから送り込むこともできますが、1法人1施設という所もたくさんあるので、そういうところの人材確保をどうやっていくのかということも大きな課題ですね。

また、SNSを活用した情報発信が今の若者には有効なので、人材センターでもうまく活用してほしいと思います。

高橋 小規模法人については、法人同士のネットワークづくりを通じた連携や共同化が必要であると思っています。そしてその仕組みづくりを行政や人材センターが関わってやっていくということが私たちの大事な役割だと考えています。

③ 職場定着、人材育成について

高橋 今、介護現場の離職率が高いと言われる中、介護の魅力を高めていくことも必要ですが、まず介護の質

を高めていくことが職員の定着や魅力ある職場づくりにもつながってくると思います。また、介護事業所も増えている中で、利用者だけではなく、職員にも選ばれる施設になることが必要だと思えます。この点について、お話をいただきたいのですが。

高口 学卒新卒の採用活動で気づかされたのは、学生たちは職員の笑顔、やりがい、いきいきとした頑張りを見て入職を決定しているということなんです。それは一朝一夕でつくれるものではないので、そこに力を入れるようにしました。それは、今現在働いている職員が自分の意思を持って、本当にやりたい介護は何なのか。それを達成するためには何が必要なのかを発信できるようにしていくということ。そして職員が、自分の仕事を一定の誇りや自信を持って説明できるようにするため、キャリアに合った研修を重層的に行い人材育成にかなりの時間と手間をかけて取り組んでいます。

栗野 法人の経営者として考えるとサービスの質は本当に大事で、いい介護ケアをするということは大前提だと思えます。一方で働いている人たちが働きやすい職場をいかに整えていくかが

大事だと思えます。逆に経営者がそういう視点をしっかり持てるかどうか問われていると思います。だからこそ、経営者や管理者への教育が大切だと思えます。私の法人は働き方改革をテーマに、残業をしない環境や全職員の有給休暇消化率80%を目標に職場をつくっていく。そうした方針を、経営者が全職員に示せるかということ。それがないと、いくらいいサービスをしようと言っても、働く環境が悪ければ辞めていくに決まっています。なので、経営者は労働環境もしっかり整えないといけないと思います。



湖山医療福祉グループ
医療法人財団
千葉の会 人材開発室
部長 高口 光子 氏

高口 介護現場をぞんざいにすれば職員は辞めて、いなくなる、結果的に介護の質は落ちる、巡り巡って経営が危うくなるということに気付いていない経営者もいるということであれば、現場の職員からすると、利用者も職員も大事にしないと経営は立ち行かないという、ごく当たり前のことにちゃんと気付いている経営者を見極める目を持つことも必要ということですね。

3 連携について

高橋 介護現場、養成校、社会福祉人材センターが連携して、人材確保の取り組みをしていく上で何が必要なのか、御意見をお願いします。

栗野 人材センターと学生との懇談をやってみたらどうでしょうか。学生が今どう思っているか、どのようにして就職活動をしたいのか生の声を聴く場をもつというアプローチも必要ではないかと思います。

高口 職業としてのイメージでしょうか。看護師ならこんな仕事とすぐにイメージできますが、介護のイメージは、入浴、排せつ、食事の三大介助。それが介護だと思っっている方が圧倒的に多く、

これを何とか変える。三大介助は、人としての関わりや関係をつくる大事な生活行為であつても、それは目的ではありません。その生活行為を通じて、人として出会い、人しかなを支えられないからこそ、人の生きる力を引き出すのが介護なんだということを多くの方に伝えていくことが必要と思います。

新井 大学の授業の中で、学生から「介護って奥が深いんですね」という話を聞くことがあります。学ぶ中で難しさや楽しさを知り、体験することで介護の魅力に気づくことになっていると思います。また、人材センターで作成している保護者向けの資料についても、配布だけではなく、実際に働いている方や勉強をしている人等に紹介できる機会を設けるということも必要かと思ひます。さまざまな立場からお話をしていたら、と、保護者の方々の誤解している部分も解けていくのではないかと感じました。

最後に難しい話題が続いたので、ちよつと提案なのですが、介護の魅力伝えるために、地元テレビ局とタイアップをして、「介護」をテーマにしたドラマを制作してみたいかがでしょうか。これまでも介護のドラマはいくつもありましたが、静岡県出身の俳優の方々も演じていただいて、静岡県発の作品があつたら、観る人に介護を

知つていただくきっかけにもなりますし、介護職にとつても嬉しいものになると思ひます。

高橋 静岡県出身の俳優による「介護」をテーマにしたドラマづくり。「介護の魅力」を伝える一つとして、地元を舞台に制作ができれば、県民にとつて大変親しみやすいものになると思ひます。新春にふさわしい、夢のある、明るい御提案いただき、嬉しく思ひます。

4 まとめ

高橋 社会福祉人材センターとして、介護現場と養成校、そして介護現場へ就業しようとしている方たちをつなぐ役割というのが、主に期待されているということを感じました。

皆さんの思いは一緒だと思ひますが、進路指導担当の先生が、「介護の楽しさが分からないから教えてください」とか、学生が「介護って奥が深いんですね」ということを学んで気が付いたと、まだまだ介護に対する理解が進んでいない。介護の楽しさ、やりがい、そして身体介護だけでない、人の生きる力を引き出す介護、それを私たちがどう伝えていくか。そのためには、介護業界全てが手を携えて、1法人と

か1事業所とか1学校の話ではなく、人材センターも含めて考えていくことが大事です。まずは現場を知つていただき、介護をもつと身近なものとして肌感覚で感じていただく。それが回りの道のように、一番ストレートな人材確保につながると思ひます。これから人材センターとしましては、介護現場や養成校の声を聞いて、少しでも福祉・介護現場に人が来ていただけるように努力したいと思ひますので、これからは御協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。



年男・年女が語る新年の抱負

今年の新年号では、2019年に年男・年女を迎える方々に「新年の抱負」を語っていただきました。

集いに参加できること



静岡県民生委員
児童委員協議会理事
藤枝市岡部地区
民生委員・児童委員

岩倉 いわくら

睦弘 むつひろ

健康で民生委員活動や地域の集いに参加できることに感謝しております。

私の藤枝市岡部地区では、高齢者に限らず地域の人々が支えあう環境づくりを進めるために、全町内会（28町内会）で、「ちいき談話室」を年数回開催することを目標に、「支えあい地域づくり推進事業」をスタートしました。私が担当する町内会では、年代を超えて多くの皆様に参加していただくために、各組長さんに運営のボランティアをお願いし、40～60歳の男性の組長さんが率先して協力してくれています。まだ緒に就いたばかりの「ちいき談話室」ですが、根付いていくよう願っています。

活動するも参加するも健康であることが不可欠です。次の猪の年は84歳。地域の皆さんと関わりをもち続けていることができたなら幸せなことだと思っております。

猪の誇り



静岡県保育連合会理事
五和保育園園長

山口 やまぐち

学世 ふみよ

社会では、被害が多く悪者になっている猪であるが、私は猪歳生れに愛着を持っている。絵本や物語に登場する猪は、結構失敗したり挫折したりしながらも、前を向いて武骨に生きている。特に好きなシーンは「もののけ姫」。人間が罾を張ったところに猪達が突撃する時、モロ（犬族）が『全てをわかっていて、それでも正面から突撃したいのだ。それが猪の誇りだから』と言うのだが、もうこの言葉がググッとくる。私の「思ったら考える前に行動、そして案外失敗だらけの生き様」を認めてもらっているように思えるのだ。

福祉の世界は、職員・子ども・保護者と人間関係の中で成り立っている。きっと、私のドタバタの土埃を被った方も多いと思うが、還暦を迎え、「猪突猛進」ばかりでないもう少し落ち着いた猪になりたいとは思っている。しかし、やっぱり「猪の誇り」だけは忘れないでいたい。

今できることに挑戦



公益社団法人
静岡県看護協会副会長

平井 ひらい
弘美 ひろみ

新年明けましておめでとうございます。

町の保健師として三十八年、その後看護協会の理事として現在まで多くの方々と出会い、多様な学びの機会に恵まれましたことをいつも感謝しております。

現役時代のご縁で、地域の食生活改善活動へ参加する一方、元の保健委員の皆様と一緒に「銭太鼓」の芸能を通じて老人施設や地域の集い場で活動しています。また、保育園や老人クラブ等で「健康教育・健康相談」の仕事もあり、忙しい毎日に元気をいただいています。

今年には六回目の亥年、職場の上司など周囲から「猪突猛進」と度々ご批判をいただいたことを思い出します。

新年の抱負は、健康で活動できたことに感謝し、これまでの活動を継続・発展するよう努力することです。仲間との交流を大切に、できる限りの社会参加とボランティア活動に頑張りたいと思います。



年男を迎える新年に向けての抱負



静岡県社会福祉士会
地域共生推進委員会担当理事
社会福祉法人天竜厚生会
地域福祉事業部
地域福祉課課長

諸田 もろた
嘉人 よしひと

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月に「2019年は年男ですので、新年の抱負を原稿にしてもらえませんか。」と依頼を受けました。私も二十数年、福祉の仕事に携わっていますが、「年男」を理由に仕事の依頼を受けたことは初めてでしたが、人生の節目を迎える年になったことに気づかされました。

私も法人内では、総務課から救護施設の施設長まで、様々な分野で多くの経験をさせていただいています。最近の私のご利用者や職員と向き合う中で、常に心に思い続けていることが「人を認めること」「人を信じること」という言葉です。すべての人を二人の人として認め、その人を信じて寄り添い続けることが、今の私に与えられた役割だと思っています。今年も、人との出会いを大切に自分らしさを忘れず、確実に一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。



静岡県社会福祉人材センター研修課主催の研修会のお知らせ

平成31年3月開催分をお知らせします。

★ラクラク申込み「WEB サービス」(会員対象)を御利用ください!→WEB サービスサイト <http://www.shizuoka-wel.jp/learn/information/>

研修 NO.	研修名	開催日	会場	対象者	内容・講師	受講料 会員(非会員)
66	子どもがいる現場の リスクマネジメント講座	3/1	シズウエル	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	子どもがいる現場での危機管理・安全管理に必要な知識・技術の習得 講師:東京成徳短期大学 幼児教育科 准教授 田中 浩二 氏	4,000円 (6,000円)
72	看護職員研修 ～「食べる力」を支え抜く 看護の役割～	3/5	シズウエル	社会福祉施設等に勤務する看護職員	社会福祉施設等に勤務する看護職員に必要な知識・技術の習得 講師:ナーシングホーム気の里 施設長 田中 靖代 氏	4,000円 (6,000円)
10	福祉施設の災害対策講座	3/13	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	自施設の災害過程を知り、その影響に備えるために必要な対策・施設内の研修内容を整理する 講師:静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 准教授 鈴木 俊文 氏 ほか	4,000円 (6,000円)

◎最新の「研修開催の情報」を、電子メールで事業所様にお知らせします! kenshu@shizuoka-wel.jp に ①事業所名 ②事業所種別 ③電子メールアドレスを入力の上、件名「研修開催の情報 メール受信希望」として送信してください。なお、2か月経過しても配信がない場合は、下記研修課まで御連絡ください。

☆詳しくはホームページをご覧ください [静岡県社協 研修](#) 問い合わせ先:研修課 電話 054-271-2174

◎県社協が行う自主研修には、皆様の会費を充当しております。

社会福祉しずおか 広告募集

広告を掲載して、イメージアップ、顧客アップを図りませんか?

■掲載紙名…機関紙「社会福祉しずおか」

■発行部数…毎月11,300部発行

本会会員(県内福祉施設、団体、民生員児童委員、企業等)、県内小中高等学校等

■掲載回数…年1回～毎月(10月を除く)まで

■サイズ…ご希望にあった掲載をお選びいただけます。
3タイプのサイズをご用意しております。
詳細についてはお問い合わせください。

問合せ先…静岡県社会福祉協議会 福祉企画部地域福祉課 電話 054-254-5224

「静岡のお茶です」 通称:セルブ茶




SELIP (セルブ) は
Support (支援) Employment (就労)
Living (生活) Participation (社会参加)
読文字から成る略称です

セルブ茶「静岡のお茶です」はJA静岡市茶業センター様のご協力により製造、販売を開始いたしました。安心して確かな品質の茶葉を使用した「香りすっきり、味わいしっかり」を詰め込んだ飲みやすい緑茶ドリンクです。

「静岡のお茶です」の売り上げは、障害のある方の社会参加や自立生活の支援に役立てられます。

1ケース(400g×24本入) 3,120円

会合、研修会などには是非ご利用ください。

インフルエンザ予防に「ウィルハント60」を!

二酸化塩素の空間除菌剤 開封後 約60日間持続

Will Hunt 60

ウィルス除去 除菌 消臭



ホルダー付き 680円・詰め替え用 450円

一般社団法人静岡県社会就労センター協議会は、障害者の就労支援や生活支援など、障害者の自立に向けた活動を支援する団体です。

お問合せ、ご注文は・・・

一般社団法人静岡県社会就労センター協議会

静岡市葵区呉服町2-1-5 5風来館 4F

TEL054-204-5088 FAX054-204-5089 HP [静岡セルブ](#) で検索

YAMAHA
感動を・ともに・創る

私たちは、音・音楽を原点に培った技術と感性で、新たな感動と豊かな文化を世界の人々とともに創りつづけます。

ヤマハ株式会社

ありがとうございました

県社協への寄附金

「路上詩人」として社会貢献活動を行う望月雅文 様から30,000円のご寄附をいただきました。(11月19日)

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
寄附金贈呈式

左) 望月 雅文 様 中央) 本会 常務理事 松浦 康夫
右) 事務局長 高橋 邦典

施設のメンテナンスを効率良い専門車輛で応援します。

カーテン出張クリーニング

特許ランドリー車

カーペットタイル出張丸洗い

洗浄前 洗浄後

特許出願中

ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング

株式会社三ナフ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1 フリーダイヤル-ミナフ にハロー- fax054-295-9003
☎ 0120-370286

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

全国200万人 加入!!

ボランティア活動保険

<http://www.fukushihoken.co.jp>
ふくしの保険

保険金額

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	1,400万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金(特定感染症)	300万円(限度額)			
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ(※)	500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険
(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償
(傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

(引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
(保険会社) TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)JNK17-16970 2018.1.9作成